

第8節 その他の保健医療従事者

現状と課題

近年の高齢社会の進展や医療需要の高度化・多様化に伴い、保健医療サービスの範囲が拡大するとともに、その内容の専門化・細分化が進んでいます。このような状況に対応するため、救急救命士、健康運動指導士、ヘルスケアトレーナー、言語聴覚士等多種多様な保健医療関係の職種・資格制度が生まれてきていますが、視能訓練士や臨床工学技士等、全国平均を下回る人数の職種があり、必ずしも十分確保されているとはいえません。また、社会福祉士・介護福祉士・精神保健福祉士といった職種も介護保険や精神保健の推進に伴い必要性を増しています。

このため、これらの保健医療従事者の確保を図る必要があります。

施策

資格内容や受験情報等を広く県民に提供しながら、医療現場等の実態やニーズに合わせて、必要な保健医療従事者の確保に努めます。